



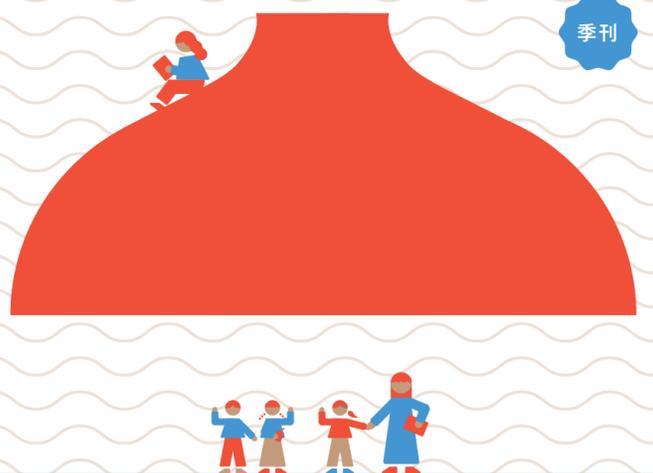
シビックプライドブレイスは、市民のみなさんとのチャレンジ。

1年以上にわたって構想してきたメディコス、そして岐阜市の新名所「シビックプライドブレイス」がついにオープンを迎えました。シビックプライドブレイスは、岐阜市の過去・現在・未来をつなぐ拠点です。2つのドーム状のブースでは、地図や写真を通して、現代から江戸時代まで時代を遊べることができます。ここに来れば、今に生きるわたしたち自身が、連続と続く岐阜市の歴史の流れのなかにいるのを感じていただけるでしょう。そして、この場所の何よりの特徴は、未完成であることです。市民が関わることができ

るように、余白を敢えて残しているとも言えることもできます。シビックプライドブレイスのオープンを見据えて、昨年開催した企画「思い出の枚」では、多くの市民から岐阜のまちの貴重な写真が集まりました。集まった写真は、シビックプライドブレイスのシステムに活用させていただきます。このようにオープン後も、シビックプライドブレイスから発信される情報を市民のみなさんと共に編集していきたいと考えています。シビックプライドブレイスは、多様性を有する岐阜のまちを、さまざまな視点から覗く、惑しをつくるための、メディコスと市民のみなさんとのチャレンジなのです。

# 文化 道

メディコス 季刊



【特集】  
大公開！シビックプライドブレイス全図

【岐阜の文化地図】  
老舗

みんなの森 ぎふメディアコスモス  
GIFU MEDIA COSMOS

① みんなでつくるハーブガーデン

メディコス南側に季節の花やハーブが植栽された花壇があるのをご存じですか？今年度、全3回のハーブガーデン講座を開催し、16人の市民が自分たちで選んだハーブを植栽しました。花壇の肥料にはメディコス1階のスターバックスコーヒーから提供を受けたコーヒーかすを活用。市民の手で大切に手入れされた花壇が、春を迎えてどのように変化するのが楽しみです！

1.市民がみんなで協力して植え付け  
2.スターバックスから作った肥料を活用

② 過去の写真から推理せよ！  
「どこコレ？@メディコス2021 with IAMAS」

2021年12月から翌1月にかけて開催された企画展「どこコレ？」。市民から提供された昔の岐阜市を収めた写真10点が展示され、来館者は幼い頃の記憶を遡ったり、過去の風景を現代の景色に重ね、場所や時代を特定する推理や思い出のエピソードを付箋に書き込んでいました。どこコレは市民が自分たちのまちに蓄積された過去とつながるきっかけになっています。

1.メディコス1階に設置された特設ブース  
2.あらゆる世代のコメントで埋め尽くされた写真

【みんなの森 ぎふメディアコスモス】  
〒500-8076 岐阜市司町40-5  
TEL.058-265-4101 <https://g-medicosmos.jp/>  
季刊「メディコス文化道 VOL.04 (2022年3月発行) 発行 / みんなの森 ぎふメディアコスモス 編集・デザイン / さかちブックス (株式会社トルクリエティブセンター)

VOICE 02 宇野 薫さん

子育て講座をきっかけに「ほっぺの会」に関わるようになり、メディコスには多い時は週2~3回来ることもあります。図書館にも立ち寄れるのが嬉しいです！

VOICE 01 伊藤 恵さん

NPO法人「ほっぺの会」の活動で週1回以上は通っています。メディコスを見学することで、市民からの信頼が厚くなり、多様な人と出会うのがいいところです。

VOICE 04 加藤さん親子

図書館というと、静かで緊張感がある印象でしたが、メディコスは開放的で安心して子どもに読み聞かせができます。今日が初めての来館ですが、また来ます！

VOICE 03 中 瑠樹さん

Instagramでメディコスのことを知り、名古屋から来ました。建築がおしゃれで、居心地がよく、近所にあったら通いたいです。帰りに1階のスタバに寄ろうと思います！

HOW TO USE / 虎の巻 其の壹

使ってみよう！まち歩きステーション

岐阜市の魅力的なスポットを探索しよう！

1 岐阜市内約200ヶ所。写真をタップすると素敵なお店や史跡など、知人ぞ知るスポットがみられます。

2 行ってみたいスポットを選ぶと自分だけのオリジナルマップができます。マップはスマホにダウンロード可。

3 「歴史を歩く」「ぎふの定番食」など16のテーマから気分に合わせて行きたい場所を探せます。

4 おすすめのお散歩コースでは「松尾芭蕉句碑めぐり」や「映えスポットめぐり」など好みのコースが見つかるはず！

MEDICOS NEWS SPECIAL

大公開！シビックプライドブレイス全図

岐阜の歴史・ひと・文化の魅力を集めた新名所「シビックプライドブレイス」が、2022年3月、メディコス1階にオープン。メディコス文化道編集部がその全貌をいち早く取材し、大公開！

コンセプト

1. 小さな観光・地域文化の可視化
2. ひと・情報の集積拠点
3. まち散歩の拠点

岐阜の山水郷をイメージ  
2つのコクーン(まゆ)がオープンでクローズドな空間を演出！

シビックプライドボード  
シビックプライドブレイスのシンボルとなる40インチタッチパネルモニターが来場者を出迎えます。

長良川カウンター  
コクーンを貫く、清流長良川を模したカウンター。

1F

コクーンを覆うネットをよく見ると金華山のシルエットが浮かびます。

まゆ歩きステーション

正面入口 STARBUCKS

43型モニター iPad端末 27型モニター iPad端末

ぎふ歴史ギャラリー

SELECT BOOK SHELF  
岐阜のことをもっと詳しく知ることができる本棚。旬な情報から、歴史、伝統までさまざまな本が並びます。

岐阜な人カード  
・信長公や昆虫翁名和靖など、岐阜の偉人・文化人を紹介。  
・伝統工芸の職人やまちづくり活動をしている人などユニークな人たちも紹介。

TAKE FREE

HOW TO USE / 虎の巻 其の貳

使ってみよう！ぎふ歴史ギャラリー

古地図や古い写真から岐阜市の過去の記憶をたどろう！

1 地図上のスポットをタップすると、その地図の時代の貴重な写真約300枚が見られます。

2 江戸・明治・大正時代などの古い地図から新しい地図まで、自由に切り替えて見比べることができます。

3 ギャラリーでは写真を通して岐阜の知られざる歴史を見ることができます。

# 岐阜の文化地図

## CULTURAL MAP

# 04

### THEME 老舗

cosmos of memory

岐阜のまちには幾つもの文化が、地層のように積み重なり、混じり合い、深みと広がりをもって蓄積されている。文化とは歴史であり、発見や出会いであり、忘れられない記憶や記録であり、人々の暮らしの中から生まれて、ゆるやかに繋がっていくものだ。地図を片手にこのまちの文化を辿っていけば、そこに“文化道”があらわれる。今回は“記憶の宇宙”を抱く「老舗」から、文化の道を繋いでみよう。

# 01 麩兵

濃尾平野の肥沃な大地で作られる小麦と清流長良川の豊かな伏流水に恵まれたこの地で、1836(天保7)年に生麩の専門店として創業した「麩兵(ふひょう)」。店頭にはごま、あわ、よもぎなどを練りこんだ生麩や、角麩、焼き麩などが並ぶ。笹の葉に巻かれた名物の麩まんじゅうを頬張ると、爽やかなよもぎの香りが広がる。「小麦からグルテンを抽出して作られる麩は、植物性タンパク質の塊とも言えます。栄養価が高く、健康志向の現代でも多くの方に味わっていただきたい」と、6代目を継ぐ川島徹郎さん。旧店舗として使われた町家建築を改装して2020年にオープンした「けぬきや亭」では、専門店ならではの麩と湯葉尽くしの昼御膳が味わえると評判だ。



**[DATA]**  
岐阜市米屋町15  
9:00~17:00 日曜定休、水曜不定休  
TEL.058-262-0283  
<https://www.fuhyo.co.jp/> 麩まんじゅう 笹巻 173円、ミニ生麩(ごま、あわ、よもぎ)各346円



[メディコスを中心に岐阜のまちに活気を]

**6代目/川島徹郎さん**  
私が金華小学校(現岐阜小学校)に通っていた頃は、岐阜公園内に県立図書館がありました。今はメディコスに岐阜市立中央図書館ができ、嬉しく思っています。市民に図書館を身近に感じてもらうと始まった「ぎふまちライブラリー」に参加して店頭に本棚を設置していますし、今後もメディコスと一緒に岐阜のまちを盛り上げていけたらと思います。

# 03 御菓子司 玉井屋本舗

古くは美濃和紙や材木などを運ぶ川湊として栄えた岐阜市湊町で1908(明治41)年に創業した「御菓子司 玉井屋本舗」。初代が長良川を泳ぐ若鮎に着想を得て考案したという、カステラ生地で作った「登り鮎」は、岐阜の鮎菓子の特徴とされる。スマートな姿と上品な顔立ちの香り高い鮎菓子は、一目でこの老舗和菓子屋のものに分かる。近年は和菓子になじみが薄い若い人にも親しまれやすいようにと、鵜飼とは立場が逆転して鮎が鵜をくわえるユーモラスな意匠の焼き菓子「下剋上鮎」を発売して一躍話題となった。「守るだけでは伝統は続きません。時には冒険もしていかないと」と3代目の玉井博祐さん。老舗の伝統に、新しい風が吹く。



**[DATA]**  
岐阜市湊町42  
8:00~19:00 水曜定休  
TEL.058-262-0276



[日本らしい文化やまちなみが残る川原町]

**3代目/玉井博祐さん**  
川湊としての文化が育まれてきたこの川原町エリアは、自然が豊かで川風も気持ちよく、日本の良さがゆったりと感じられるまちなみが残り、ここで生まれ育ったことをしあわせだと日々感じています。今後、もっと気軽に和菓子を楽しんでいただける企画を考えつつ、変わらずお客様に喜んでいただくことを心に御菓子を作って参りたいと思います。

HOW TO USE

# CULTURAL MAP

岐阜のまちにはどんな文化が蓄積されているのだろうか。地図を片手にまちを歩きながら新しい発見を書き込んで自分だけの文化地図をつくろう。

COLUMN

## 一岐阜町・川原町の歴史一

岐阜城が築かれた金華山の西に斎藤道三や織田信長によって造られた城下町「岐阜町」。江戸時代には尾張藩の岐阜奉行所が置かれ、商工業の中心地として経済が発展しました。岐阜町の名産品であった鮎のなれ鮎を江戸幕府に献上するために運んだ道は「御船街道」と呼ばれました。また、美濃和紙や材木などの資材を運ぶ河川流通の要であり、問屋町として栄えた一帯は通称「川原町」と呼ばれています。そうした歴史のある岐阜町や川原町には、今も数々の老舗が残っています。



### 【さかだちボックス編集部のお宿地図】

- 04 長崎屋本店**  
江戸時代の1720(享保5)年から300年余の歴史を誇る和菓子店。「本家味噌松風」は夏目漱石の小説「虞美人草」にも登場する銘菓。
- 05 松花堂**  
伊奈波神社参道で1916(大正5)年に創業。春夏秋冬の味と色彩を表現した上生菓子が多くの茶席で用いられているのも納得。
- 06 欧風料理 あじろ亭**  
1907(明治40)年開店。カレーに目玉焼きが乗った「高等ライス」やハンバーグなど、昔ながらの洋食に秘伝のソースをかけて。
- 07 奈良屋本店**  
1830(天保元)年より6代続く和菓子店。3代目が考案した素朴で可愛らしいメレンゲ菓子「都鳥」と「雪たる満」をぜひご賞味あれ。
- 08 武蔵野本店**  
1914年(大正3)年開店の食事処。種類にお弁当が付く「だるまセット」や、かしわ、えび、貝柱などが楽しめる釜飯を味わって。
- 09 丸デブ総本店**  
品書きは「中華そば」と「ワンタン」のみ。1917(大正6)年から受け継がれる唯一無二の味は、まさに愛すべき「岐阜のソウルフード」。
- 10 ベンテンドー**  
1912(大正元)年創業の和洋菓子店。裏ごした国産粟と柔らかな餅が相性抜群の「栗粉餅」は芸能人御用達グルメとしても有名。

●01 [カレー]で紹介したお店 ●02 [本と映画]で紹介したお店  
●03 [コーヒー]で紹介したお店

# 02 三河亭

岐阜市初の洋食店として1894(明治27)年にオープンした「三河亭」。2013年に休業し、その歴史は一時途絶えてしまったが、4代目の中島稔さんのコックとしての矜持と、長女の服部恵美さんの熱意、そして再開を望む多くの客の声に後押しされ、8年の歳月を経て復活を遂げた。店の代名詞ともいえる「高等ライス」は、美濃焼の丼に入ったカレーに目玉焼きをのせたもので、当時カレーが高級品だったことからこの名が付いたという。野菜や豚肉を長時間じっくり煮込んで作るまったりとしたルウは、甘みと旨みの後にピリッとスパイスがきく。秘伝のソースをかけて、黄身を潰して、と味の変化を楽しむのもいい。ハヤシライスやカツサンドもぜひご賞味を。



高等ライス(屋はサラダ、スープ付)900円

**[DATA]**  
岐阜市八ツ梅町1-2  
11:00~14:00 日曜・月曜定休  
TEL.058-262-2618



[店の歴史の重みを感じ、お客様に感謝]

**5代目/服部恵美さん**  
戦時中はこの辺りも焼け野原になり、美濃市へ疎開していたのですが、実は店に地下があり、そこに井を掘っていたと聞きました。8年間の休業の後に父と店を再開して、お客様からこの店や料理の思い出話を聞かせていただくことがとても多く、「三河亭」は地域に根ざし、いくつもの時代を見てきた歴史がある店なのだとひしひしと実感しています。